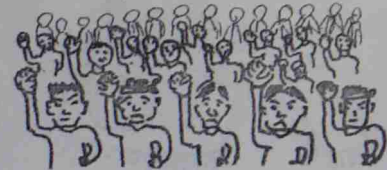


怒りをもって要求獲得へ行動を

6・23 釜ヶ崎反失業総決起集会・三角公園



6・24 仕事よこせ！対大阪府行動・デモ

特別就労対策を起こせ！

森田さん（四七オ）が、救急車できていないから、と診察をこわられ、富永病院によって見殺しにされた。医者にみせることなく、病院職員の判断でほかされ、殺されたのだ。近所の人の話による

こ、森田さんは水をジュースを飲みた

労働福祉センター
特別就労対策窓口を拡大

がっていったことだ。たが、森田さんが放置された所にある自動販売機は、二二二二年使

日雇健康保険制度廃止反対！

わけていないものだった。
濁いたのどま

命令知・障者等に
仕事を任せれば保障しな

軍事を福祉に

オノノオノで誰かノノノで殺されていったのだ。焼きつくよひなのどの湯きをかかえた

日雇差別抹殺攻撃を許さないぞ！

釜ヶ崎解放
釜ヶ崎日雇労働者会・協議団

勝利の運動の怒心

まま死出の旅路を強制されたのだ。

その無念はいかばかりであったろうか。

梅田・ナンバ・天王寺には、釜ヶ崎に仕事がないために、命をつなぎこめるため、せむをえず街頭生活者として流失させられていった多くの仲間がいる。

・浮浪者と呼ばれ、道行く人のベツ視にさらされ、商店主や警官などにゴミ・芥のごとく扱われながら、仕事さえあれば、身体の状態にあった仕事があれば、と無念の思いをかみこめている。

アフレ賃の受給せかろうとである仕事にありついている仲間達も、仕事のすくなくことで足元をみすかすかのような、飯場のオヤジや手配師の労働条件の切り下げや横柄な態度に泣かされている。

顔付けによってはおのけられるくやしさと怒りは、多くの仲間が共有している。

我々はなぜ、かかる生活を強いらられなければならないのか。

仕事がないのは地震や津波のような天災ではない。

一三二三年、年度がわりから梅雨明けまでのダブル地獄が繰り返されてくるが、これは自分達の利権あさりのために国家財政を破綻させたことを棚上げにたままそのつねを福祉切り捨てや生活基盤整備事業をおこなう

ことにまわし、いたずらに軍事費のみを重視している政府、自民党、財界が仕組んでいる人災である。

手配師や飯場のオヤジ、建設土木業界の日雇い使口捨てが許せないのと同時に、自民党、財界の仕組日雇い殺しの諸政策をも許すことができない。その手先、代行者である大阪府、大阪府を許すことができない。

我々は働かざる者である、仕事をよこせ！ 全釜ヶ崎労働者の共通の要求をかかけ、怒りをもって、集会にてデモに行動し、意志を鮮明にして勝ちとろう！